

ディスクロージャー誌の記載内容の訂正(正誤表)

「平成29年版ディスクロージャー誌」の記載内容について一部誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。

記

<訂正箇所>

○【P. 51】Ⅳ 貸借対照表に関する注記

本年度(平成28年度)

5. 貸借対照表に計上した貸出金のうちリスク管理債権の金額

(単位:百万円)

項目	正		誤	
	本年度	増減	本年度	増減
破綻先債権額	16	▲ 15	16	▲ 15
延滞債権額	1,955	414	1,352	▲ 188
3か月以上延滞債権額	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—
合計(A)	1,971	399	1,369	▲ 203
うち担保・保証付債権額(B)	1,301	446	698	▲ 156
担保・保証控除後の債権額(C) = (A) - (B)	670	▲ 46	670	▲ 46
貸倒引当金総合計残高(D) = (E) + (F)	2,392	▲ 111	2,392	▲ 111
うち個別貸倒引当金残高(E)	666	▲ 46	666	▲ 46
うち一般貸倒引当金残高(F)	1,725	▲ 65	1,725	▲ 65
	①貸出金のうち、破綻先債権額は16百万円、延滞債権額は19億55百万円です。 ④破綻先債権額、延滞債権額、3か月以上延滞債権額および貸出条件緩和債権額の合計額は19億71百万円です。		①貸出金のうち、破綻先債権額は16百万円、延滞債権額は13億52百万円です。 ④破綻先債権額、延滞債権額、3か月以上延滞債権額および貸出条件緩和債権額の合計額は13億69百万円です。	

○【P. 63, 64】Ⅲ 事業の概況

本年度(平成28年度)

1. 信用事業

(2) 貸出金

⑨リスク管理債権の状況

(単位:百万円)

項目	正		誤	
	本年度	増減	本年度	増減
破綻先債権額	16	▲ 15	16	▲ 15
延滞債権額	1,955	414	1,352	▲ 188
3か月以上延滞債権額	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—
合計(A)	1,971	399	1,369	▲ 203
うち担保・保証付債権額(B)	1,301	446	698	▲ 156
担保・保証控除後の債権額(C) = (A) - (B)	670	▲ 46	670	▲ 46
個別計上貸倒引当金残高(D)	666	▲ 46	666	▲ 46
差引額(E) = (C) - (D)	3	—	3	—
一般計上貸倒引当金残高	1,725	▲ 65	1,725	▲ 65

⑩金融再生法債権区分に基づく保全状況

(単位:百万円)

債権区分	正						誤					
	債権額	保全額				債権額	保全額					
		担保	保証	引当	合計		担保	保証	引当	合計		
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	本年度 1,201	284	259	657	1,201	本年度 1,201	284	259	657	1,201		
危険債権	本年度 770	690	67	8	766	本年度 167	87	67	8	164		
要管理債権	本年度 —	—	—	—	—	本年度 —	—	—	—	—		
小計	本年度 1,971	974	327	666	1,968	本年度 1,369	371	327	666	1,365		
正常債権	本年度 526,854	/	/	/	/	本年度 527,457	/	/	/	/		
合計	本年度 528,826	/	/	/	/	本年度 528,826	/	/	/	/		

○【P. 86~87】Ⅴ 連結貸借対照表に関する注記

本年度(平成28年度)

4. 貸借対照表に計上した貸出金のうちリスク管理債権の金額

(単位:百万円)

項目	正		誤	
	本年度	増減	本年度	増減
破綻先債権額	16	▲ 15	16	▲ 15
延滞債権額	1,955	414	1,352	▲ 188
3か月以上延滞債権額	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—
合計(A)	1,971	399	1,369	▲ 203
うち担保・保証付債権額(B)	1,301	446	698	▲ 156
担保・保証控除後の債権額(C) = (A) - (B)	670	▲ 46	670	▲ 46
貸倒引当金総合計残高(D) = (E) + (F)	2,392	▲ 111	2,392	▲ 111
うち個別貸倒引当金残高(E)	666	▲ 46	666	▲ 46
うち一般貸倒引当金残高(F)	1,725	▲ 65	1,725	▲ 65
	①貸出金のうち、破綻先債権額は16百万円、延滞債権額は19億59百万円です。 ④破綻先債権額、延滞債権額、3か月以上延滞債権額および貸出条件緩和債権額の合計額は19億71百万円です。		①貸出金のうち、破綻先債権額は16百万円、延滞債権額は13億52百万円です。 ④破綻先債権額、延滞債権額、3か月以上延滞債権額および貸出条件緩和債権額の合計額は13億69百万円です。	

○【P. 91】Ⅷ 退職給付に関する注記

本年度(平成28年度)

4. 退職給付債務および年金資産の期末残高と連結貸借対照表に計上された退職給付に係る負債および退職給付に係る資産の調整表

(単位:百万円)

項目	正	誤
	金額	金額
①積立型制度の退職給付債務(確定給付型年金制度)	2,659	2,659
②年金資産	▲ 2,350	▲ 2,350
③未積立退職給付債務(①+②)	309	309
④非積立型制度の退職給付債務(退職一時金制度)	2,821	2,821
連結貸借対照表計上額純額(③+④)	3,130	3,130
⑤退職給付に係る負債	3,130	3,064
⑥退職給付に係る資産	—	—
連結貸借対照表計上額純額(⑤+⑥)	3,130	3,064

以上